



植栽管理でできる小さな自然再生

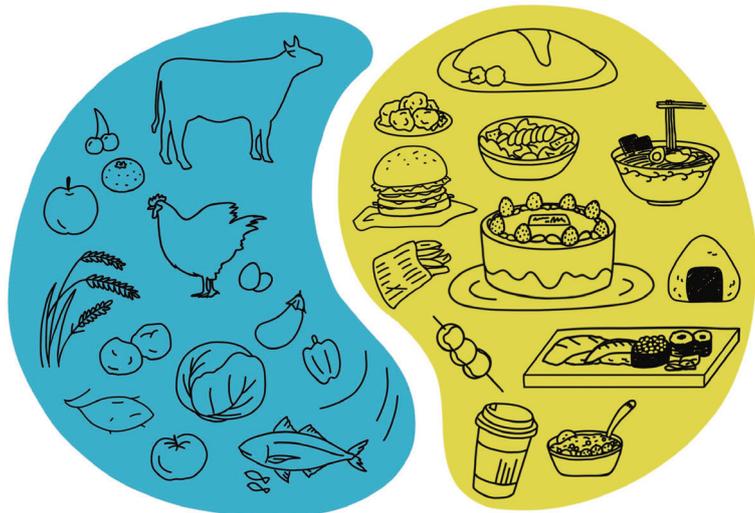
適切な植栽管理は「自然再生」にもつながります。
現場での作業にあたり、自然再生を促す土台の考えである
「生物多様性の向上」について紹介します。

01

なぜ生物多様性の向上が必要なのか

健康で文化的な生活を続けるため

生物多様性を高めることは、
その地域の経済基盤や文化基盤を
再生することにつながります。
人の健康や経済的利益、
そして将来の持続性を考えると、
自然を守り再生していく方法が
より合理的です。



また、選択肢の多い豊かな
食生活を楽しむことにも
つながっています。
生物多様性が損なわれると、
魚や肉などをつくる
養殖や牧畜の仕事も
成り立たなくなってしまう。

自然には自分で回復する力があります。
しかし、多様な生き物がいなくなると、
その回復力が弱まってしまい、
結果として私たちの健康や経済、
文化にも悪い影響が出てきます。



02

植栽管理は生物多様性向上の カギを握る仕事

土と水と緑を相手に仕事をしている私たちが、
自然に寄り添って環境を整えると、
地域の生物多様性は少しずつ回復に向かいます。
生き物とのほどよい距離感を保ちながら、
管理作業の落としどころを見つければ、
日々の仕事にも変化が生まれ、
楽しさが倍増します。



こうした取り組みを続けることで、生物多様性の向上が実現され、
人の生活や地域の経済、そして文化も豊かになっていくのです。



これらの視点をふまえつつ、次回より
植栽管理の具体的な作業内容をご紹介します。

公園・緑地の植栽点検・講習のご依頼は株式会社エコルまで！



発行元 株式会社エコル
東京都港区高輪 3-4-1 高輪偕成ビル8階
03-5791-2901 03-5791-2902

過去の記事も確認できます！

都市樹木研究室の
HPのQRコードは
こちらから

